

タイムテーブル

- ・開会、閉会につきましては全発表通して201教室で行いますので、集合していただくようお願いいたします。
- ・プレゼンテーションは2会場に分かれて実施いたします。会場は出入り自由ですので、好きな会場に移動しながら発表をお聞かせください。

受付 12:30	A会場 (205教室) 美術館・博物館、 教育機関との連携	B会場 (206教室) 地方自治体、NPOとの連携
13:00	13:00-13:30 開会・開催趣旨説明 (201教室)	
14:00	13:40-14:00 1 上宿小学校キャラクター制作委員会 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III・環境デザインI 上宿小チーム	13:40-14:00 1 電車をつなぐ西地下道アートプロジェクト in 立川 電車をつなぐ西地下道アートプロジェクト
	14:05-14:25 2 みつけよう!世界にひとつだけの星空を ももいろめがね	14:05-14:25 2 あいあい*ムサビプロジェクト 親子de国際交流 多文化ひろばあいあい
	14:30-14:50 3 武蔵野美術大学広報誌「mauleaf (マウリーフ)」 「mauleaf」学生スタッフ	14:30-14:50 3 ちいさなつやすみ 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III
	14:55-15:15 4 カラーハント!ぼくらの色の秘密基地 JAGDAキッズワークショップ	14:55-15:15 4 旅ムサステイ in 長崎県大村市 旅するムサビプロジェクト
15:00	15:30-15:50 5 School Art Project ムサビる! ムサビる!実行委員会	15:30-15:50 5 旅ムサステイ in 青森県八戸市 旅するムサビプロジェクト
	15:55-16:15 6 電気通信大学との連携プロジェクト Design Interaction Laboratory	15:55-16:15 6 知的障がいを持った人との繋がりを作る 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III けやきチーム
16:00	16:20-16:40 7 UMARTs2018 うまからうまれるアート展 UMARTs2018	16:20-16:40 7 ルネ小平ワークショップ「子どもの広場」 ルネ小平ワークショップ武蔵野美術大学有志
	16:45-17:05 8 ビザ・ワールドワイド ニューフォームファクターワークショップ Fグループ	16:45-17:05 8 新潟わらアートまつり わらアート
17:00	17:15-18:00 本学教員による講演 (201教室)	
	(1) 三澤一実教授 (共通デザイン・教職課程) : 「大学・学生が社会と関わるということ」 (2) 齋藤啓子教授 (視覚伝達デザイン学科) : 「美術・デザインが社会と関わるということ」	

懇親会のご案内

発表会終了後の18:20より、教職資料閲覧室 (7号館1階) にて懇親会を行います。
どなたでも参加いただけますので、ぜひお越しください!



日時: 2018年11月3日(土・祝) 13:00~18:00 (12:30受付開始)
会場: 武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 2号館講義室

入場無料
事前予約不要
どなたでも
ご来場
いただけます

武蔵野美術大学では、学科や学年の枠を越え、学生企画のプロジェクトが数多く実施されています。それぞれの目的の達成や課題解決に向けて、学生がどのような思考や議論を重ね、企画・運営を行なっているのか。今回の発表会は「美大生の可能性」と題し、プロジェクトが実施されるまでのプロセスについて、学生自身がプレゼンテーションを行います。美術・デザインの造形活動を通じて身に付く、正解のない答えを探索し表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。既存の価値にとらわれず、独自の視点や感覚で生み出されるプロジェクトの発表を通して、美大生の持つ力の可能性を探ります。

A会場(205教室)

美術館・博物館
教育機関との連携

2 みつけよう!世界にひとつだけの星空を ももいろめがね

商業施設での造形ワークショップ



六本木 東京ミッドタウンにて未就学児〜8歳程度の児童までを対象にデザインとアートで創作を楽しむワークショップを企画し、夏の「涼」をテーマに「水」を使い、子供ならではの好奇心を掻き立てる現象的なアートとして水万華鏡作りを提案、開催した。

4 カラーハント!ぼくらの色の秘密基地 JAGDAキッズワークショップ

デザインをテーマにしたワークショップ



「東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク2018」では、10の子ども向けワークショップが開催されました。デザイナーやアーティスト、デザインに力を入れる企業などが企画する「〇〇をデザインする」をテーマにしたワークショップです。視覚伝達デザイン学科は毎年このイベントの参加依頼を受けており、今年はカッティングシートを扱う株式会社中川ケミカルの協力のもと企画を考案・実施しました。

6 電気通信大学との連携プロジェクト Design Interaction Laboratory

異なる視点でのものづくりプロジェクト



本連携はムサビと電気通信大学の学生がチームを結成し、デザインと技術に富んだ全く新しいプロダクトを生み出す新しい試みです。ムサビ生と電通大生が互いの強みを活かしながら、アイデア出しから試作、発表までを協力して行うプロジェクトを進めています。

8 ビザ・ワールドワイド ニューフォームファクターワークショップ Fグループ

理工系学生と美術系学生が連携した課題発見・課題解決型プロジェクト



ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社、ソニー銀行株式会社から出されたテーマに基づき、武蔵野美術大学、東京工業大学、電気通信大学(留学生含む)の混合編成グループによって、相互の専門性を生かした企画提案を行った。

1 上宿小学校キャラクター制作委員会 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III・環境デザインI 上宿小チーム

小学生との共同制作



上宿小学校創立30周年を記念し、イメージキャラクターを作るお手伝いをしました。「キャラクター制作委員会」として児童13人、私たち武蔵野美術大学の学生9人で2週間に一度委員会を行い、3ヶ月にわたり子ども達主導でキャラクターを選出していました。

3 武蔵野美術大学広報誌『mauleaf(マウリーフ)』 『mauleaf』学生スタッフ

学生向け広報誌の発行



mauleafは武蔵野美術大学の学生向けに発行される広報誌です。学生が中心となって年に2回ずつ冊子と学内のニュースを取り扱うパンフレット形式の瓦版を発行しています。学科内での活動ではできないmauleafでの活動を皆さんに発表できたらいいなと考えています。

5 School Art Project ムサビる! ムサビる! 実行委員会

中学校での作品展示、ワークショップ



「学校を美術館に!」をコンセプトに、夏休みの2日間、小学校や中学校の教室で展示会を行うプロジェクトです。武蔵美の学生や教員の作品展示のほか、中学生とのコラボレーション展示(中学生企画)や、ワークショップなども展開しています。

7 UMARTs2018 うまからうまれるアート展 UMARTs2018

展示会、ワークショップの企画運営



「UMARTs2018 うまからうまれるアート展」は、公益財団法人馬事文化財団と武蔵野美術大学の博学連携から生まれた、若きアーティストとキュレーターが展示会とワークショップを通し、「馬」「馬文化」の魅力を伝え、新しいアートの楽しみ方を提案するプロジェクトです。

9 暮らしになじむ図書館 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III・環境デザインI 図書館チーム

図書館のイベント企画、グッズ制作



武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の学生と小平市中央図書館とのコラボレーション! リサーチを通して利用者さんにとって親しみやすい図書館とはなにかを考え、イベント企画やグッズ制作、館内サインの提案を行いました。
※当日はパネル展示のみとなります

B会場(206教室)

地方自治体
NPOとの連携

2 あいあい*ムサビ*プロジェクト 親子de国際交流 多文化ひろばあいあい

多文化家族との交流イベント



最近、日本に多文化家族が増えている。しかし多文化家族と日本の家族がなかなか繋がらない。その原因は小さい子供が家にいると外に行けなくなり、孤立してしまうことである。外国と繋がる親子と日本の親子の国際交流を推進する親子de国際交流を開催した。

4 旅ムサステイin長崎県大村市 森のアート作品づくり〜映像・壁画ワークショップ〜 旅するムサビプロジェクト

地域と連携した子ども向けワークショップ



長崎県大村市にある「おおむら里山村」で、小学生の子供たちを対象に映像を作るワークショップと、音楽堂の舞台の壁に絵を描く壁画ワークショップを行いました。壁画は小学校低学年、映像は高学年の子供達が作りました。

6 知的障がいを持った人との繋がりを作る 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III けやきチーム

障がい者週間に関連するデザイン制作、ワークショップ



12月初頭に設けられている「障がい者週間」で開催される、小平市内の様々なイベントにデザイン制作やワークショップの企画運営の面で関わりました。この活動を通して、障がい者の方との間に感じている壁を少しでも払拭できれば幸いです。

8 新潟わらアートまつり わらアート

地域資源を活用したイベント



武蔵野美術大学と新潟市西蒲区の主催により始動したわらアートまつり。毎年武蔵野美術大学から有志40人程度が参加し、稲わらを使って動物や昆虫など全長3メートル以上に及ぶ巨大アートを作り上げる。今年はサーベルタイガー、サル、ヤギ、カバ、ゾウの五体を制作した。

1 電車であつなぐ西地下道アートプロジェクトin立川 電車であつなぐ西地下道アートプロジェクト

市民と協働した立川駅西地下道の壁画制作



このプロジェクトは、立川市と武蔵野美術大学が協力して、立川駅西地下道を明るく彩るプロジェクトです。今年の3月からペイントをはじめ、今まで市内の中学校や高校など様々な学校や団体と協力して壁面に絵を描いてきました。また、立川市はアール・ブリュットが盛んな街でもあるため、作家さんや作品ともコラボレーションしています。

3 ちいさなつやすみ 視覚伝達デザイン学科3年 空間構成III

小・中学生を対象にした造形・演劇ワークショップ



20人の小平市の小・中学生と夏休みに2日間かけて大学の地下展示室で造形・演劇ワークショップを行いました。今年のタイトルは、「ごはんはだれだ! Food House ちいさなぼくらの大脱走」です。オリジナルの物語・世界観・設計・広報などすべて10人の学生で運営する取り組みです。

5 旅ムサステイin青森県八戸市 旅するムサビプロジェクト

中学生を対象にした美術の授業



旅するムサビは各地の小中学校で黒板ジャックや対話型鑑賞、ワークショップなどを「美術の授業」として学生が行う活動です。今回は青森県八戸市の中学校にて学生と対話しながら作品を鑑賞する対話型鑑賞と、8つの教室を使って黒板ジャックを実施しました。

7 ルネ小平ワークショップ「子どもの広場」 ルネ小平ワークショップ武蔵野美術大学有志

地域と連携した子ども向けワークショップ



毎年ルネこたいらで行われるお祭り、ルネこたいら夏休みフェスタにて、子ども向けのワークショップをしております。今年のテーマは、「子どもがヒーローになる!!」でした。子ども達が、変身したり、トロッコに乗って怪獣を倒しに行きました。

報告会場の通路にて、報告内容に関するパネル展示を行なっております。
こちらも合わせてご覧ください。

